

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第548号 令和5年11月・12月



『富士山～秋景』 古川朋靖

## 目 次

	頁		頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2	7) 西多摩医師会 写真・絵画展	写真部 … 11
2) 専門医に学ぶ	高橋聡介 … 4	8) 理事会報告	広報部 … 16
3) 広報だより	古川朋靖 … 6	9) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 18
4) 連載企画	下村 智 … 7	10) 表紙のことば	古川朋靖 … 23
5) 学術講演会予定	学術部 … 8	11) お知らせ	事務局 … 23
6) 糖尿病医療連携検討会からの 今月のメッセージ	加計 剛 … 9	12) あとがき	奥村 充 … 24

## 保健所だより

### 感染症だより 8月

#### 1. 西多摩圏域感染症発生動向

2023 年第 24 週～第 27 週 (6/12-7/9) の間に保健所で受理された感染症について、管内 (青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩) の医療機関より以下の報告がありました。

##### (1) 全数報告疾患 届出件数

###### 〈四類感染症〉

・レジオネラ症 2 件 病型は肺炎型 2 件 (40 代 1 件、70 代 1 件)。推定感染地は国内 2 件。推定感染経路は水系 1 件、不明 1 件。

###### 〈五類感染症〉

・梅毒 2 件 早期顕症梅毒Ⅱ期、50 代、男性 1 件。無症候梅毒、30 代、男性 1 件。推定感染地は国内 1 件、不明 1 件。推定感染経路は性的接触 1 件、不明 1 件。

・百日咳 2 件 10 代 1 件、40 代 1 件。百日咳含有ワクチン接種：不明 2 件。

##### (2) 定点報告疾患 報告件数 (定点数：14)

疾患名	第 24 週	第 25 週	第 26 週	第 27 週
	6/12～	6/19～	6/26～	7/3～
インフルエンザ (外来)	16	3	14	8
COVID-19	60	44	46	77
RS ウイルス感染症	7	2	3	2
咽頭結膜熱	3			
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	5	6	6
感染性胃腸炎	25	19	18	17
水痘			1	
手足口病	3	1	2	
伝染性紅斑				
突発性発しん	2	1	1	
ヘルパンギーナ	21	40	42	27
流行性耳下腺炎		2		
不明発しん症				
川崎病				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎				
細菌性髄膜炎				
無菌性髄膜炎				
マイコプラズマ肺炎				
クラミジア肺炎				
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)				
インフルエンザ (入院)				
合計	141	117	133	137

#### 2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 27 週 (7/3～7/9) 時点

ヘルパンギーナと RS ウイルス感染症は先週から横ばいですが、今後の動向に注意が必要です。

<b>感染症だより 9月</b>
------------------

## 1. 西多摩圏域感染症発生動向

2023年第28週～第31週(7/10-8/6)の間に保健所で受理された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

## (1) 全数報告疾患 届出件数

## 〈二類感染症〉

・結核 6件 肺結核 2件、潜在性結核感染症 4件。20代 1件、50代 1件、80代 2件、90代 2件。

## 〈三類感染症〉

・腸管出血性大腸菌感染症 2件 20代 1件、50代 1件。推定感染地は国内 1件、不明 1件。推定感染経路は接触感染 1件、不明 1件。

## 〈四類感染症〉

・レジオネラ症 1件 病型は肺炎型、80代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明。

## (2) 定点報告疾患 報告件数(定点数:14)

疾患名	第28週	第29週	第30週	第31週
	7/10～	7/17～	7/24～	7/31～
インフルエンザ(外来)	17	13	3	6
COVID-19	84	70	85	105
RSウイルス感染症	5		1	4
咽頭結膜熱		1		1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	5	4
感染性胃腸炎	27	6	19	11
水痘	3	1	1	2
手足口病	2	2		2
伝染性紅斑				
突発性発しん	2	1	1	
ヘルパンギーナ	23	15	10	16
流行性耳下腺炎		1		1
不明発しん症				
川崎病				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎				
細菌性髄膜炎				
無菌性髄膜炎				
マイコプラズマ肺炎				
クラミジア肺炎				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
インフルエンザ(入院)				
合計	163	112	125	152

## 2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 31週(7/31～8/6)時点

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は先週より増加しています。

# 専門医に学ぶ 第163回

公立福生病院 循環器内科 医長 高橋聡介

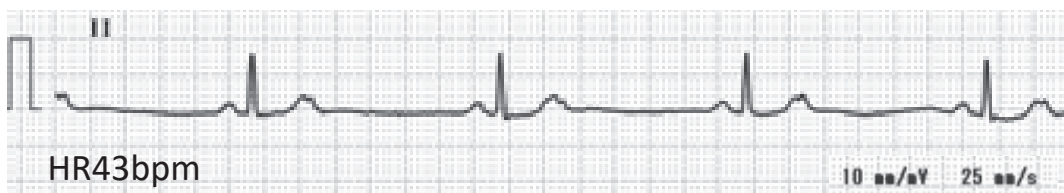
## はじめに

心電図を正しく読むことは、循環器領域において基本でありながら、なかなか難しいものでもある。また、その診断によって治療方針が変わることも多く、正確な診断が求められる。今回は、P波の後のQRS波が抜ける心電図を集めてみた。

### 【症例1】



### 【症例2】



### 【症例3】



### 【問題】

- (1) 診断名は？
- (2) 治療方針は？

### 【解答 症例1】



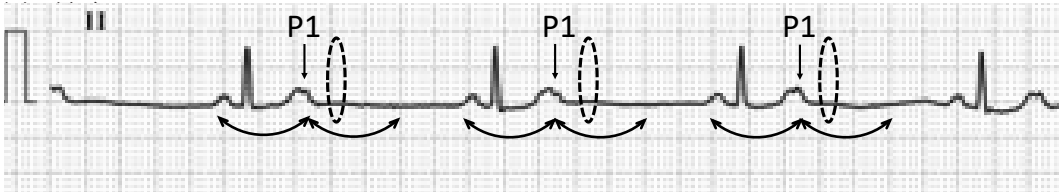
P波は全て一定の間隔であり、洞調律である。しかし、P波に続くQRS波が2回のうち1回しか伝わっておらず（QRS波が抜けるところを丸の点線で示した）、2：1の房室ブロックと診断する。

- (1) 2：1の房室ブロック（2度房室ブロック）
- (2) 脳虚血症状や心不全症状があればペースメーカー植込み手術の class I 適応。無症状の場合



合は慎重に経過観察\*。

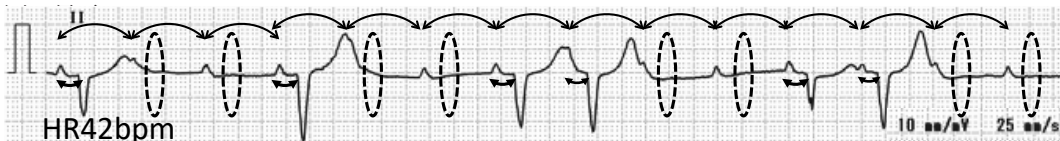
### 【解答 症例2】



一見すると洞性徐脈と思いがちだが、よく見ると何れのT波の後半部分にもP波が乗っかっている。このP波をP1としてPとP1の間隔でディバイダーを用いて追っても、次のP波はだいぶ先で出ている。つまりP1は洞調律ではなく、期外収縮であることが分かる。P1に続くQRSは不応期のためにブロックされている（QRS波が抜けるところを丸の点線で示した）。洞調律と上室性期外収縮が交互に出現しており、上室性期外収縮の二段脈と診断する。

- (1) 上室性期外収縮の二段脈（QRS波は不応期によりブロックされている）
- (2) 加療は不要（ただし、上室性期外収縮が多いので心房細動への移行がないかどうか経過観察は必要）

### 【解答 症例3】



一見してP波の後のQRS波が抜けている箇所が多く、房室ブロックを認めることは分かると思うが、その程度の見極めも大切である。まず最初にP波を追ってゆくと上の矢印のように全て等間隔であり洞調律が維持されていることが分かる。QRS波を追ってゆくと一見して不規則であり、完全房室ブロックではないことが分かる。次に、P波とQRS波の関係をみると、QRS波が抜けている箇所以外は、下の矢印のようにP波とQRS波の間隔は一定であり、ここはP波とQRS波が繋がっていると考えられる。QRS波が抜けるところを丸の点線で示したが、2回抜けると次のP-QRSは繋がることを繰り返しており、3:1の房室ブロックと診断する。2:1房室ブロック（2度房室ブロック）以上で完全房室ブロック以下の房室ブロックは高度房室ブロックと呼ぶ。

- (1) 高度房室ブロック
- (2) 脳虚血症状や心不全症状があればペースメーカー植込み手術のclass I適応。無症状の場合は慎重に経過観察\*。

（\*ただし、ブロック部位がヒス束内あるいはヒス束下であることが証明されれば、無症状でもペースメーカー植込み手術のclass II a適応）

（class I適応：有効であることについて証明されている。class II a適応：有効である可能性が高い）

### 最後に

昨今、どの領域でもAIによる診断が進んでいるが、心電図診断においては自身の目で見て、ディバイダーを手にとって診断をつけることがまだまだ重要であると考えます。

## 広報だより



## 「ポストコロナの診療ってなんだろう」

永仁医院 古川 朋靖

2019年12月から始まった新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）も、今年の5月で二類感染症から五類感染症に変更となりました。世間一般の方々の心の中からは、これまでのようなコロナに対する怖れもなくなってきたようです。確かに、初期の頃のコロナと違い最近のコロナ（オミクロン株）は重症化の頻度は少ないように感じます。今後、コロナ（発熱患者さん）とどう付き合っていくのか、どんな診療スタイルが望ましいのか、自分の診療と合わせて考えてみたいと思います。

今年の八月から九月は、昨年の同時期と比べても、発熱患者さんが多くおられました。コロナに罹患している方がとても多くおられました。実際の全国における患者数は、把握できませんが、かなり多かったのではないかと思います。患者さんが共通しておっしゃるのは「誰からもらったかわからない」という点です。自分の周りにはコロナの人はいないし、家族にもいないという方がとても多かったです。すでに、誰から、どこからもらったかもわからないくらい市中に蔓延している感じでした。また、結構多かったのですが、第5-6病日になっても咳も熱も治らないから診てほしいという依頼でした。十分な説明と鎮咳剤や解熱剤を処方している患者さんではありますが、なぜ良くならないのか診てほしいという依頼です。みなさん異口同音に「どうして5日でよくならないのか？」と聞いてきました。陽性確認時にもお話しはしているのですが「コロナという病気はなんら変わってはいないけれども、国のコロナに対する取り扱いが変わったんですよ、二類から五類に変わって」と説明をします。5日という日程は、国が検討の上で決めたもので絶対ではないんですよと。これまでだったら「1週間とか10日とか自粛だったでしょ」というとやっとわかってもらえる方が多かったです。患者さんの心うちからはコロナの記憶はとても遠くに行ってしまったようで、どんなだったかも覚えていないなんて感じの方も多かったです。何人かの患者さんに「コロナはもう終わったんでしょ」と九月の激しく忙しい時期に涼しい顔で言われて凹んだこともありました。ただの風邪だと言われる方もいれば、コロナに罹患して後遺障害が残って（主には嗅覚障害や味覚障害）後悔をされる方もおられました。さらには、臨床的に強くコロナを疑う方でも、頑なに検査はしたくないという方もおられました。理由を聞くと、一番に多かったのがタダではないからという金銭面の理由でした。次に多いのが、自分の周りにはいないからというものでした。まあ、五類にもなったのでそれ以上に検査を強く勧めることはできませんが、スタッフ一同忸怩たる想いでもありました。

患者さんの中でも意識の高い方もおられます。しかしながら、共存というよりもコロナ自体が過去のものとして認識している方も結構おられます。国の方向性からすればそれでいいのかもしれませんが、現場としては、どうしていくべきなのか。発熱患者さんは時間を分けて診療をする。（自院の構造上、空間的に分けられない）。基本的な感染対策（頻回の手指消毒、エプロンガウン、手袋等）をする。基本的なことを過不足なく行うくらいしかできません。他の患者さんのためにも急に発熱患者さんを一般患者さんと一緒に診察することもできません。診療時間を分けることは効率が悪いですし、患者さんによっては違う時間に来ることに異を唱える方もおります。でも基本的な対策は外せないし、来ていただいていた患者さんにちゃんとしたことはしたい。でも、苦勞をしても臨時点数は削除されていく。様々なジレンマの中にあります。インフルエンザと同

じ対応と言っても、絶対的に有効な対応薬もない状況では同じとは言い難いものがあります。最近のコロナは重症化頻度が低いということが幸いではあります。私のところだけのジレンマなのかもしれませんが、五類感染症になっても何ら変わらないし、個々の患者さんへの対応が、より難しくなった印象を持ちます。

文句もいろいろ書きましたが「結局患者さんのために何ができるのか？」その事が重要なのだと思いました。できないことも多い中、基本的な事を中心に、出来ることは手間がかかってもやる。結局、画期的な方法なんてなくて、地道にやっていく事、それが王道なのかもしれません。(なにか独り言のような文章になりましたが、自戒を込めてとなります。ご了承ください)

## 連載企画



### 「スポーツ観戦は楽しい」

あきる野市 豊信会草花クリニック 下村 智

今年の夏は暑くて、体調管理が大変でした。年を重ねるとともに、気候変動により自分の体調に与える影響が大きいという事がやっとわかるようになってきました。

食欲、スポーツ、学問の秋がやっと到来してほっとしています。スポーツと言いますと、ここ数か月間、国際スポーツ大会のラッシュで9月、10月は観戦するほうも結構忙しかったのではないのでしょうか。女子サッカーなでしこジャパン、男子サッカー、ワールドカップラグビー、世界バレーボール大会、世界タイトルマッチのボクシング、野球といっぱいありました。

その中で日本サッカー代表チームは男子サッカーチームが「SAMURAI BLUE」、女子は「なでしこジャパン」という愛称で呼ばれます。サッカーと言いますと1968年のメキシコ大会は忘れられません。グループ内に競合のスペイン、ブラジルがいて上位2チームが決勝リーグに進められる中、日本がブラジルと引き分けてグループ2位で決勝リーグにすすみました。そして、3位決定戦に進み対メキシコ戦は開催国でもあり、世界の強豪であるため、当然世界中でメキシコが勝つものと思われていました。ところが試合前半に2点を日本が先取しました。後半はメキシコも必死に攻撃を繰り返しますが、GK横山がPKを止めたり、日本の守備を崩せませんでした。そんな中、スタンドからは「メヒコ」という声援がいつの間にか消え、日本選手のスポーツマンシップ、粘り強い守備に対して「ハポン」と日本応援の大合唱に変わりました。中学1年の子供ながらにどうしてという思いと、なぜか涙ぐんでいたのを思い出します。その日本代表のユニフォームのエンブレムは男女ともに八咫鳥です。八咫鳥は日本の神話に登場する3本足のカラスで太陽の化身であり、神武天皇を道案内して勝利へ導いたことから、勝利の象徴として採用されました。

バレーボール代表は男子が龍神 NIPPON、女子は火の鳥 NIPPON、エンブレムは国旗とその下の JAPAN しか目に留まりません。

バレーボールというと1964年の東京オリンピックで大松監督の率いる「東洋の魔女」ですね。3-0と完勝した決勝のロシア戦は未だに記憶に残っています。鬼の大松、回転レシーブは未だに精神論を語るときの言葉に出してしまいます。

ラグビーはちょっと深い。2003年まで日本代表は「チェリー ブロッサム」と呼ばれていま

した。ところが、2003年のオーストラリア大会で初戦のスコットランド戦で11-32と敗れたけど、低く突き刺さるタックルで伝統国をひやりとさせたことで「ブレイブ ブロッサム」と呼ばれるようになりました。1930年、初めて日本ラグビー代表が編成されたときのユニフォームの3つの桜は、「つばみ」、「半開き」、「満開」であったようです。不完全な桜はそのまま継続されましたが、戦後1952年10月1日にオックスフォード大との対戦から3つの満開の桜になりました。ラグビーの母国である英国と戦えるようになった時には胸の桜を咲かせようという事で現在の3つの満開の桜になったそうです。その時の試合は0-36と完敗でした。

今回のワールドカップも日本人の気持としての戦いの中に勝負にはかかわりなくスポーツマンシップにのっとり、美しく「桜の精神」を見た感じがして感動しました。

スポーツは日本代表の試合になると見るほうも緊張します。勝負の勝ち負けだけでなく、試合の中身が観衆の気持に如何に伝えられるか、そしてその準備の過程が大切な、短い時間の流れと見て見させてもらっています。

## ◇学術講演会予定

令和 5.10.18

開催日	開始～終了 時間	会場	単 位 数	CC	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
11/7 (火)	19:00 ～ 20:10	Web 配信 (Zoom) 又は、 羽村市 ゆとろぎ	1	29	学術講演会 「西多摩認知症フォーラム」 演題「認知症診療の最新トピックス」	国立精神・神経医療研究センター 病院 病院長 阿部 康二 先生
11/10 (金)	18:30 ～ 19:30	【Web 講演】	1	23	学術講演会 演題「経口GLP-1 受容体作動薬の 治療効果とその優位性を考える ～リベルサスによる行動変容に ついて～」	日本医科大学多摩永山病院 循環器内科 松崎 弦 先生
11/16 (木)	19:15 ～ 20:30	【Web 講演】	1	77	学術講演会 「第5回青梅骨粗鬆症ネットワーク 勉強会」 【オープニング】 演題「青梅市における骨密度検査の 現状と課題」 【特別講演】 演題「骨粗鬆症診療のピットフォール」	市立青梅総合医療センター 整形外科 部長 加藤 剛 先生 せいせき内科 院長 竹田 秀 先生
11/21 (火)	19:00 ～ 20:00	【Web 講演】	1	42	学術講演会 「第33回西多摩呼吸器懇話会」 【一般講演】 演題「胸部X線写真読影・解説」 【ミニレクチャー】 演題「発展する肺がん個別化治療 ～薬物療法を中心に～」	市立青梅総合医療センター 呼吸器内科医長 伊藤 達哉 先生 " 医員 大友 悠太郎 先生 市立青梅総合医療センター 呼吸器内科医長 本田 樹里 先生
12/5 (火)	19:30 ～ 21:00	Web 配信 (Teams) 又は、 西多摩 医師会館	1.5	45 82	学術講演会 【一般講演】 演題「かかりつけ医の高血圧治療」 (仮) 【特別講演】 演題「心不全進展予防を意識した コロナ時代の降圧治療」(仮)	湯田クリニック 院長 湯田 淳 先生 東京医科大学八王子医療センター 循環器内科准教授 山田 聡 先生



# 糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ

## 西多摩地域糖尿病医療連携検討会

平素より当検討会の事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当検討会では2018年度より会員の皆様に、医師会報を通して糖尿病診療に役立つヒントを得て頂ければと願い「糖尿病診療を再考する症例」をテーマに【糖尿病専門医による症例提示】を企画しております。今回は、市立青梅総合医療センター 内分泌糖尿病内科 加計 剛 先生に症例提示をお願いいたしました。皆様の日頃の糖尿病診療の一助となりましたら幸いに存じます。

### 【クッシング病を合併していた糖尿病性ケトosisの一例】

市立青梅総合医療センター 内分泌糖尿病内科

加計 剛 先生

【症例】48歳男性【主訴】倦怠感

【現病歴】3年前に耐糖能異常を指摘され、1年前に高血圧を指摘された。

9日前から口渇・頻尿を自覚し、6日前に口渇、頻尿、倦怠感を主訴に前医を受診した。検査で血糖値590mg/dl、HbA1c 11.3%、Na 136mEq/l、K 2.1mmol/l、尿ケトン3+で糖尿病と診断され外来でインスリン強化療法、アスパラ K 内服を開始した。

1日前に倦怠感が続くため近医を受診し、K2.1mEq/lと低K血症が持続していたため当院救急外来を紹介受診した。K2.3mmol/l、血糖341mg/dlであり、精査加療目的に同日当科入院となった。

【既往歴】なし【内服薬】アムロジピン 2.5mg、アスパラカリウム 1800mg、インスリンリスプロ 4-4-2単位、インスリングルルギン 4単位

【家族歴】父：糖尿病、高血圧症 兄：高血圧症

【生活歴】飲酒：機会飲酒、喫煙：20本/日×33年

【入院時現症】身長175cm、体重100kg、BMI 32.6kg/m<sup>2</sup>

〈バイタルサイン〉BP 189/115mmHg、PR 74/分、SpO<sub>2</sub> 97% (RA)、BT 36.8°C

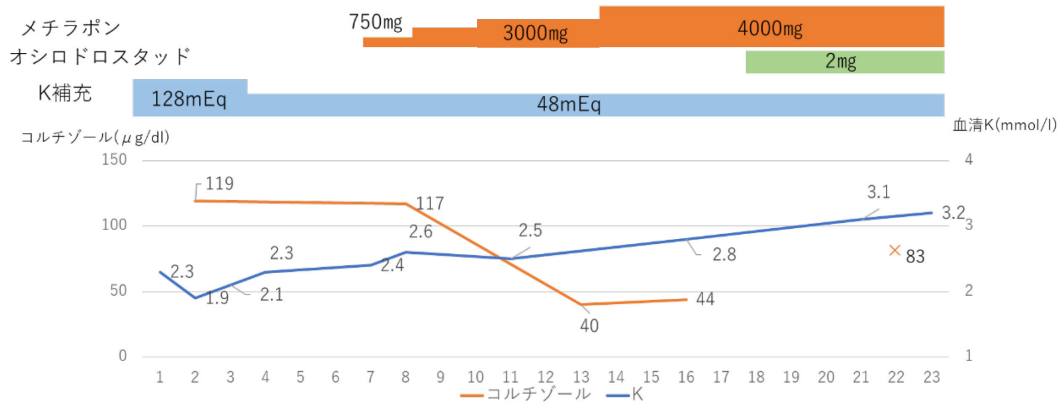
〈身体所見〉頭部 満月様顔貌なし、口唇に色素沈着なし、胸部 正常肺胞呼吸音、心雑音なし、水牛様肩なし、腹部 平坦、軟、圧痛なし、腸雑音 正常、皮膚線状なし、四肢 両側下腿浮腫 (fast pitting edema) あり、中心性肥満、爪に色素沈着なし

【血液検査所見】WBC16350/ $\mu$ l、Neu92.1%、Hb15.5g/dl、Plt21.3/ $\mu$ l、pH7.571、pCO<sub>2</sub> 38.3mmHg、pO<sub>2</sub> 68.0mmHg、HCO<sub>3</sub> 35.2mmol/l、BS341mg/dl、HbA1c11.8%、AST79U/l、ALT76U/l、Alb3.5g/dl、CK1770U/l、BUN27.0mg/dl、Cre1.14mg/dl、eGFR55.3ml/min/1.73m<sup>2</sup>、Na133mmol/l、K2.3mmol/l、Cl82mmol/l、HDL-C38mg/dl、TG160mg/dl、GA31.7%、GADAb<5.0 U/ml、Cペプチド 0.9ng/ml、TSH0.182 $\mu$ IU/ml、FT31.2pg/ml、FT41.1ng/dl、ACTH 340.0pg/ml、コルチゾール 119.2 $\mu$ g/dl [尿定性] 糖4+、ケトン体+、尿中コルチゾール 13000 $\mu$ g/日

【胸腹部CT】両側副腎の腫大あり

【入院後経過】1mgDSTでコルチゾール 1222 $\mu$ g/dlで抑制なく、日内変動の消失も確認した。8mgDSTでコルチゾール 117 $\mu$ g/dlと抑制なくCRH負荷試験でACTH反応ありであった。下

垂体造影 MRI で下垂体下方に 13×7×7mm の腫瘍を認めた。以上からクッシング病の存在を疑い選択的海綿静脈洞血サンプリング試験を行い、中枢からの過剰分泌が証明されたためクッシング病の診断に至った。



上グラフのようにクッシング病に対してメチラポンを最大量まで使用したがコルチゾール値の管理が不十分であったためオシドロスタットを併用した状態で手術目的に虎の門病院へ紹介、手術を実施後に当院へ逆紹介となった。

術前は使用インスリン 72 単位 / 日と高用量が必要であったが術後はセマグルチド 0.25mg のみで管理良好となった。また低 K 血症も術後は回復し内服不要となった。

クッシング病は罹患すると心血管イベント・重症感染症による死亡率が上昇 (SMR 3.7:95%CI 2.3-6.0) ため早急にコルチゾール値を低下させる対応 (薬物療法・手術療法) を要する。また、クッシング病発症を契機に血糖プロファイル悪化を招くケースは多々報告されており血糖悪化の際にはクッシング病合併の可能性も念頭に置く必要がある。

#### 参考文献：

Lancet Diabetes Endocrinol 2016; 4: 611-29

Lancet Diabetes-Endocrinol 2016; 4: 569-76

## 医師会館休館のお知らせ

年末・年始 事務局は下記の通り休館いたします。

記

**12月29日(金)～1月4日(木)まで**

(通常業務は28日(木)正午までとさせていただきます。なお1月5日(金)より平常通りとなります。)

## 西多摩医師会 写真・絵画展

恒例の西多摩医師会 写真展が9月19日～9月24日まで、羽村市生涯学習センター ゆとろぎ展示室で開催されました。

写真が趣味の方、興味のある方は医師会事務局か部員（本号出品者）までご連絡ください。スマホの写真でも結構です。

ご家族・従業員の方も是非ご参加ください。

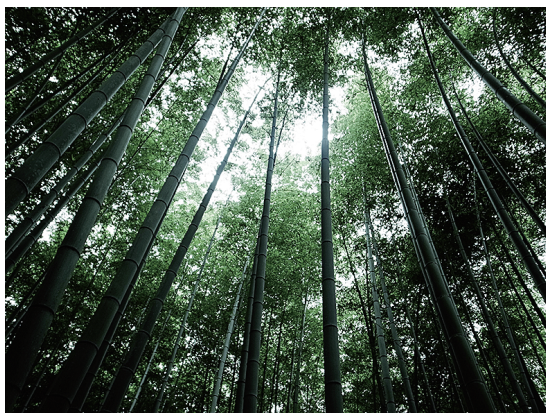
部長 真鍋 勉 (TEL042-554-6511)

古川 朋靖



産寧坂の昼下がり

京都、清水寺へ向かう参道です。のんびりとした夏の昼下がりででした。



静寂の音

京都、大原の竹林です。かなり混雑しておりましたが、瞬間、人がいなくなり、まったくの静寂にまつまれました。



モクモク ワクワク ヨコハマ ヨーヨー

横浜、みなとみらいにある彫刻です。これは、彫刻の名前です。



マリナ・カレラの想い

横浜、みなとみらいにある彫刻です。彫刻家の名前です。



松原 弘明



搭乗機より

いってらっしゃい



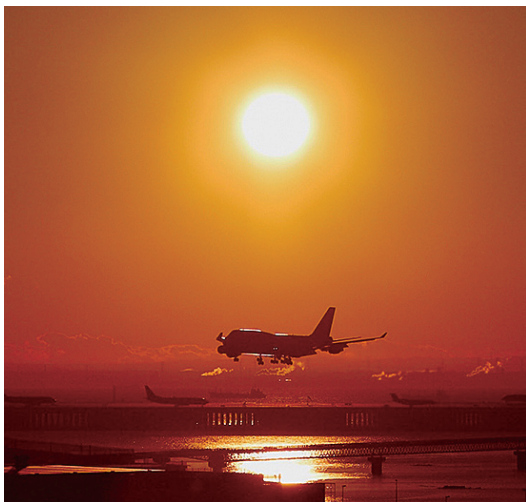
ゲリラ豪雨の後

積乱雲



夕陽が飛行機を照らして輝いた

夕刻の羽田



今は殆ど見られなくなった  
B747

早朝の羽田



出発の準備完了

松原 貞一



夜明け前

残月



ラベンダー畑より壮大な富士山

富士





北海道の富士山

蝦夷富士



秋の空



雲海

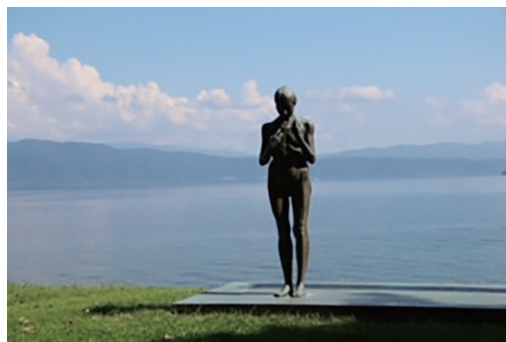


ひまわり

森本 晋



カトレア ガスケリアナ



洞爺湖のブロンズ像



カトレア マキシマ

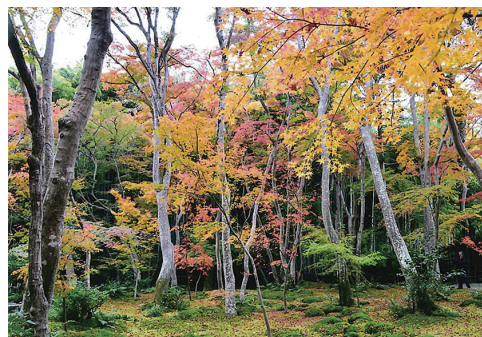
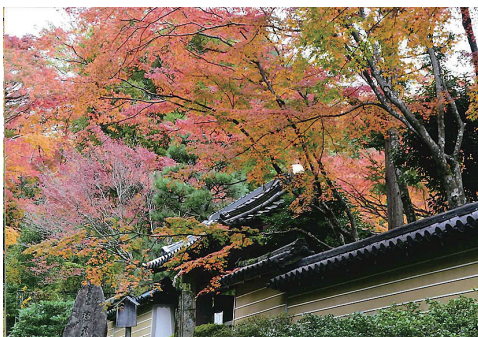


カトレア ラビアタ





5月の京都



錦秋の京都 祇王寺



錦秋の京都 永観堂



真鍋 勉



別名コスモス寺  
名の通りコスモスの名所として有名。

般若寺(奈良)

渡邊 哲哉



平成30年、父が生前に最後の仕事として羽村市五ノ神の山車を新しくすることに精力を傾け、数年がかりで完成した素晴らしい山車です。彫刻が素晴らしく絵に落とし込むのに苦労しました。春の夜祭りをイメージして。

五ノ神の山車

# 理事会報告

★ Information

9月定例理事会

令和5年9月12日(火)

西多摩医師会館

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤) 下線は Web 参加

## 【1】報告事項

### (1) 各部報告

総務部：資料により、多摩地区医師会懇話会の開催に係る当番医師会からの案内の内容等について

年末の会員親睦会を12/6 フォレストイン昭和館にて開催を決定した件について  
総務部(社会保険担当)：医療保険委員会の活動状況及び10/16に国保主務担当者との懇談会の開催を決定した件について

公衆衛生部(産業保健担当)：資料により、7/30に実施した産業医研修会の状況等について  
学校医部：資料により、8/25に開催した部会における協議内容及び決定事項(西多摩学校保健連絡協議会)について

### (2) 地区会報告(各地区理事)：

あきる野市 9/8 理事会、9/11 例会開催

日の出町 子供へのコロナワクチン接種について行政と相互乗り入れを検討

### (3) その他報告

特になし

## 【2】報告承認事項

### (1) 入退会会員、会員異動について

資料により、準会員1名の退会申請及び異動届1件が報告された

## 【3】協議事項

### (1) 東京都医師会「産業保健委員会」委員の推薦について(依頼)

資料により、標記依頼内容が説明・紹介され、石田信彦先生を推薦することが提案され可決承認された

### (2) 令和5年度西多摩保健所難病対策地域協議会の委員の推薦について(依頼)

資料により、標記依頼内容が説明・紹介され、進藤幸雄会長を推薦することが提案され可決承認された

### (3) 地域包括ケアシステム連携事業「医療・介護関係者研修」の講師推薦について(依頼)及び同事業への西多摩医師会共催名義の使用について(申請)

依頼内容のうち講師については進藤幸雄会長、共催名義の使用については承諾が提案され可決承認された

### (4) 「インフルエンザ個別予防接種業務委託契約書」の締結について

資料により、標記契約書(案)が説明・紹介され締結について可決承認された



**9月定例理事会**

令和5年9月26日(火)

西多摩医師会館

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤) 下線はWeb参加

**【1】報告事項**

- (1) 都医地区医師会長連絡協議会報告  
資料により、9/15に開催された標記協議会における都医からの伝達事項等について
- (2) 各部報告  
総務部：「新春賀詞交歓会」の中止決定について
- (3) 地区会報告(各地区理事)：  
羽村市 9/15 理事会開催
- (4) その他報告  
特になし

**【2】報告承認事項**

- (1) 入退会会員、会員異動について  
資料により、1名の正会員入会申請が紹介され可決承認された

**【3】協議事項**

特になし

**【4】その他**

野口理事(青梅市立総合病院)より  
新病院本館竣工に伴い、10/17に開院式、10/21・22に内覧会を予定しており、参加を依頼

**10月定例理事会**

令和5年10月10日(火)

西多摩医師会館

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤) 下線はWeb参加

**【1】報告事項**

- (1) 各部報告  
公衆衛生部：資料により、9/26に開催された「地区医師会感染症担当理事連絡会」の内容等について  
総務部(社会保険担当)：10/16に開催予定の「国保主務担当者との懇談会」への参加依頼
- (2) 地区会報告(各地区理事)：  
特になし
- (3) その他報告  
特になし

**【2】報告承認事項**

- (1) 入退会会員、会員異動について  
資料により、正会員1名・準会員2名の入会申請が紹介され可決承認された

**【3】協議事項**

特になし

## 会 員 通 知

- 会報 9-10 月号
- 宿日直表 (青梅・福生・阿伎留)
- 学術講演会 (9/13、10/4、10/5、10/6、10/18、10/26、11/7、11/10、11/16)
- 産業医研修会 (墨田区医師会 12/10)
  - 〃 (江戸川区医師会 12/2)
  - 〃 (日本橋医師会 12/16)
  - 〃 (女子医大医師会 12/10)
  - 〃 (板橋区医師会 2/3)
- 西多摩医師会「市民健康講座」(11/25) 開催案内 (ポスター)
- 糖尿病医療連携事業「市民公開講座」(11/18) 開催案内 (ポスター)
- 医療保険委員会からのお知らせ (オンライン資格確認に関するアンケートのお願い)
- 〃 (令和 5 年 10 月以降の新型コロナに関する診療報酬上の特例措置について)
- 〃 (オンライン資格確認に関するアンケート結果について)
- 青梅市立総合病院より「市立青梅総合医療センター」内覧会のご案内 (10/21、10/22)
- 〃 新病院への移転と引越に伴う診療体制のお知らせ (新病院での診療開始 11/6)
- 公立阿伎留医療センターより「院内ネットワーク更新工事に伴う救急患者の受入停止について」
- 外来感染対策向上加算地域連携合同カンファレンスの開催案内 於：青梅市立総合病院 (9/12)
- 外来感染対策向上加算地域連携合同カンファレンスの開催案内 於：駒木野病院 (10/17)
- 管内市町村国保担当主務者との懇談会開催案内 (10/16)
- 令和 5 年 10 月の診療報酬請求書等の締切について
- 2024 年度医師日記 (手帳) の斡旋について
- 東京都医師会雑誌令和 6 年 1 月号 (新春随想集) について (依頼)
- 第 2 回医療従事者肝疾患研修会 (10/22) チラシ
- 特別区、市町村の被保険者証更新ポスター
- 2023 年度がん征圧月間・禁煙ポスター
- 「結核予防週間」ポスター
- 「救急の日」ポスター
- やっぱり看護が好き VOL.78
- 第 97 回多摩医学会講演会抄録
- 糖尿病患者さんと糖尿病予備群の方のための「糖尿病 1 日教室 (於：公立阿伎留医療センター)」(11/11) チラシ
- 新型コロナワクチン令和 5 年秋開始接種リーフレット
- 特定医療費の支給開始日の遡りに関する患者周知用ポスターの掲示について
- 健康食品に関する安全性情報共有事業について (協力依頼)
- 都立神経病院診療案内
- 学校医会報
- 「福祉施設・支援団体の方向けマイナンバーカード取得・管理マニュアル」の作成について (周知)
- 令和 5 年度東京都オンライン診療推進セミナーの開催について
- 令和 5 年度「労災診療費算定基準・地方公務員災害補償制度・自賠責保険診療費算定基準の説明会」講演動画・資料のホームページ公開について
- 東京都医師会主催「令和 5 年医業継承セミナー」の開催について
- 医療 DX に関わる負担や不安への相談窓口について
- 「医薬品供給不足 緊急アンケート」の実施について (協力依頼)
- 暗証番号の設定が不要なマイナンバーカードへの医療機関・薬局での対応について (周知)
- 医療機関受診勧奨通知 (生活習慣病治療中断者及び骨粗鬆症治療中断) の送付に伴う事業の周知について
- 熱中症対策への一層の御協力について (依頼)
- 今後の新型コロナワクチン接種について (その 7)
- 「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き・第 10.0 版」の周知について

- 東京都の特別区・市町村の被保険者証更新に係るポスターの配布について
- 令和5年度（第74回）全国労働衛生週間に関する協力依頼について
- 医療法人に関する情報の調査及び分析等に係る新たな報告制度等について
- GLP-1 受容体作動薬の在庫逼迫に伴う協力依頼
- 紹介受診重点医療機関啓発ポスター及びリーフレット（令和5年8月版）について
- 令和5年度東京都発達障害者支援体制整備推進事業専門的人材育成医療従事者向け講習会の開催について
- 在宅医療従事者等に対する暴力・ハラスメントに関する調査研究成果の提供について（情報提供）
- 高齢者施設及び障害者施設等における新型コロナウイルスワクチンの令和5年秋開始接種について
- 新型コロナウイルスワクチンの令和5年秋開始接種について
- 令和5年度東京都立学校産業医研修会（第2回）の開催について
- 健康経営優良法人2024の申請受付について
- 「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について
- 職場における熱中症予防対策の徹底について
- 「医薬品供給不足 緊急アンケート」の実施について（協力依頼）（再）
- HPV ワクチン「キャッチアップ接種」啓発チラシの広報と配布のお願いについて
- 新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコバ錠 125 mg）の使用にあたっての注意喚起に係る追加の情報提供（資材の活用の徹底及び相談 窓口について）
- 令和5年「老人の日・老人週間」の実施について
- 令和5年度院内感染対策講習会について
- 患者からの医薬品副作用報告に関する広報の周知について
- 防災推進国民大会2023の開催及び日本医師会関東大震災100年特設サイトの公開について
- 厚生労働省委託事業令和5年度「医療情報セキュリティ研修及びサイバーセキュリティインシデント発生時初動対応支援・調査事業」について
- 厚生労働省「外国人患者受入れに資する医療機関認証制度等推進事業」オンラインセミナーのご案内について
- 転院搬送における要請基準等の再確認について（依頼）
- 「産業保健フォーラム IN TOKYO 2023」に係る周知方依頼について
- インフルエンザに係る注意喚起について
- 令和5年度結核予防週間の実施について
- 感染対策向上加算の施設基準において求める研修に該当する令和5年度院内感染対策講習会の周知について
- 令和5年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内及び周知の協力依頼について
- 医薬品の「使用上の注意」の改訂について②
- オンライン診療その他の遠隔医療に関する事例集（令和5年8月版）について
- 令和5年度「看護のお仕事応援フェア」の実施について
- デング熱に関する注意喚起等について
- 新型コロナウイルス感染症「後遺症」オンライン研修会の開催について
- 第35回（令和5年度）健康スポーツ医学講習会の開催について
- 「新型コロナウイルスワクチン 予診票の確認のポイント Ver.10」について
- ファイザー社ワクチン（1価：起源株・2価：起源株/オミクロン株）及びモデルナ社ワクチン（2価：起源株/オミクロン株）の廃棄について
- インフルエンザの流行注意報発表に伴う予防及びまん延防止対策の徹底について
- 東京都インフルエンザ情報の発行について
- 医療×「やさしい日本語」シンポジウムの開催について
- 「医薬品供給不足 緊急アンケート」の実施について（協力依頼）（再々）
- 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う往診に係る診療報酬上の臨時的な取扱いの廃止について（再周知）
- プレコンセプションケアに係る取組に関する対象拡大について（お知らせ）

- 「こども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第19次報告）」の公表について
- 独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報の周知について（協力依頼）
- 令和5年度「日本医師会生涯教育講座」第II期（10月）の開催について
- 保育所、認定こども園等におけるRSウイルス感染症等への対応について
- 「マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行うことができない場合における対応等に対する疑義解釈について」の一部改正について
- 今後の新型コロナワクチン接種について（その8）
- 令和5年秋以降の新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて
- 令和5年度「日本医師会生涯教育講座」第II期（11月）の開催について
- 食中毒の発生について
- インフルエンザの流行状況を踏まえたワクチンの接種について（協力依頼）
- 東京都新型コロナ入院調整ポータルサイトの運用にかかる合言葉の変更について
- 令和5年度東京都医師会産業医生涯(実地)研修会の開催について
- 東京都医師会主催「令和5年医業継承セミナー・個別相談」の開催について（再周知）
- 令和5年度「医療保険講習会」の受講者募集について
- 新型コロナウイルス感染症の令和5年10月以降の公費支援に関するリーフレットについて（周知）
- 日本医師会「外国人患者向け医療ポータルサイト」の開設について
- 令和5年度 ぜん息治療講演会の開催について
- 「とうきょう自死遺族総合支援窓口」の開設について
- 経口抗菌薬の在庫逼迫に伴う協力依頼について
- 令和5年10月以降の新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の特例に関する整理
- 令和5年度東京都医療機関等物価高騰緊急対策支援金の実施について（通知）
- 令和5年度第4回難病医療ネットワーク医療従事者向け研修の実施について
- 厚生労働科学研究費「がん患者紹介時に必要な情報に関するアンケート調査」の周知のお願いについて
- 第1回 TMA 医療会議の開催について
- 令和5年度 東京都アレルギー疾患治療専門研修のご案内について
- アレルギー疾患医療連携研修（第1回）の開催について
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
- 第6期「東京在宅医療塾」開講に伴う受講者募集のお知らせ
- 令和5年度「東京都医師会 地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」の開催について
- 厚労省 HPV ワクチン拠点病院整備事業医療・教育関係者講演会周知ご協力をお願いについて
- 令和5年度 第1回検案業務サポート研修会の開催について（多摩地域の登録検案医確保及び検案業務サポート事業）
- 都内における咽頭結膜熱の流行に係る情報提供等について
- 「高齢者施設に対する医療体制強化事業」に係る実施期間延長に伴う令和5年7月1日～11月30日の事業実施について（第3報）
- 発熱患者の診療・検査に用いる抗原定性検査キットの有償配布の実施について【その2】
- 医療機関における一部負担金のキャッシュレス支払いについて
- 「新型コロナウイルス感染症の令和5年10月以降の医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について」の改正及びQ&Aについて
- 令和5年度最低賃金額の改定に関する周知・広報への協力依頼及び令和5年度業務改善助成金の拡充について
- ハーバード大学 T.H.Chan 公衆衛生大学院 武見国際保健プログラム設立40周年記念シンポジウムの開催について
- 都道府県の外国人用相談窓口に係るサイト



- の URL 変更について (周知依頼)
- 令和 5 年度臓器移植普及推進月間及び臓器移植推進国民大会の実施、厚生労働省の取組に関する国民への周知について
  - 鎮咳薬 (咳止め)・去痰薬の在庫逼迫に伴

- う協力依頼
- 医療用解熱鎮痛薬等の安定供給に関する相談窓口について (対象医薬品・相談方法の追加)

## 医 師 会 の 動 き

令和 5 年 10 月 20 日現在	
医療機関数	192
	病 院      28
	医 院・診 療 所      164
会 員 数	510
	正 会 員      208
	準 会 員      302

### 会 議

- 9月5日 第2回西多摩地域脳卒中医療連携検討会
- 12日 定例理事会
- 26日 定例理事会
- 28日 在宅難病訪問診療 (あきる野)
- 10月10日 定例理事会
- 13日 在宅医療強化事業訪問看護ステーション会議
- 16日 管内市町村国保主務担当者等との懇談会
- 19日 在宅難病調整委員会
- 23日 広報部会 (会報編集)
- 24日 定例理事会

### 講演会・その他

- 9月1日 学術Web講演会 (ハイブリッド)『西多摩緩和ケア セミナー』《講演》  
演題:「当院におけるオピオイド鎮痛薬の使い方と副作用対策」  
演者:青梅市立総合病院 緩和ケア科 部長 松井 孝至 先生
- 7日 医療保険委員会 (整備会)
- 7日 「糖尿病合併症を理解するための勉強会 (循環器専門医)」(Web)《講演》  
演題:「糖尿病と循環器疾患～動脈硬化性疾患を中心に～」  
演者:青梅市立総合病院 循環器

- 9日 内科部長 栗原 顕 先生  
糖尿病患者さんと糖尿病予備群の方のための「糖尿病1日教室」(於:公立福生病院)  
講義1:「誰にでもわかる糖尿病の話」高村内科クリニック 院長 高村 宏 先生  
講義2:「食事療法の基本」公立福生病院 管理栄養士 中出直子 先生  
講義3:「糖尿病の運動療法」高村内科クリニック トレーナー 寺本由美子 先生
- 13日 学術Web講演会  
《特別講演》  
演題:「うつ病の病態と栄養学的アプローチ」  
演者:帝京大学医学部 精神神経科学講座 主任教授 功刀 浩 先生
- 21日 第1回在宅医療講座  
《グループワーク》  
テーマ「全職種で一緒にACPを考えよう」
- 22日 「糖尿病教室」(書面開催)  
講義1:「糖尿病の運動療法」小池日登美先生  
講義2:「脂質について」内田せつ子先生
- 10月4日 学術Web講演会  
『第38回西多摩心臓病研究会』《特別講演》  
演題:「心不全のUniversal Definition—早期診断の重要性—」  
演者:順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学 准教授 末永 祐哉 先生

- 5日 学術Web講演会  
『西多摩Diabetes Web Seminar』  
《講演》  
演題：「糖尿病治療 次の一手を考える～地域医療と薬物療法～」  
演者：医療法人二田哲博クリニック 姪浜 院長 下野 大 先生
- 6日 医療保険委員会（整備会）
- 6日 学術Web講演会  
『～心腎連関を考える会～』IN NISHITAMA  
《Session ①》  
演題：「腎臓専門医が考えるARNIの有用性」  
演者：青梅市立総合病院 腎臓内科 医長 河本 亮介 先生  
《Session ②》  
演題：「心不全予防を見据えた降圧治療薬のARNIの期待点」  
演者：山梨大学医学部附属病院・循環器内科 講師 中村 貴光 先生
- 18日 学術Web講演会  
『第21回 西多摩高血圧カンファレンス』  
《一般講演》  
演題：「心不全およびCKD合併の重症高血圧症に対するARNIの使用経験」  
演者：梅郷診療所 所長 江本 浩 先生  
《特別講演》  
演題：「臨床イナーシャは克服できる!～そのコツと知恵～」  
演者：公益財団法人心臓血管研究所 名誉所長 山下 武志 先生
- 21日 糖尿病患者さんと糖尿病予備群の方のための「糖尿病1日教室」(於：西多摩医師会館)  
講義1：「誰にでもわかる糖尿病の話」  
青梅市立総合病院 本田 聡 先生  
講義2：「食事療法の基本」  
青梅市立総合病院 管理栄養士 木下奈緒子 先生
- 26日 学術Web講演会  
《特別講演》  
演題：「うつ病に対する治療アプローチ～ベンラファキシンを再考する～」  
演者：高月病院 院長 長瀬 幸弘 先生
- 28日 「糖尿病教室」（書面開催）  
(予定) 講義1：「糖尿病と慢性腎臓病について（仮）」松川加代子先生  
講義2：「タンパク質について」内田せつ子先生
- 役員出張**
- 9月4日 地区医師会経理担当理事連絡会  
12日 多摩医学会役員会  
15日 地区医師会長連絡協議会  
15日 多摩ブロック医師会正副会長協議会  
26日 第3回感染症担当理事連絡会  
30日 小平市医師会法人格取得50周年祝賀会
- 10月12日 西多摩保健所難病対策地域協議会  
14日 立川市医師会創立100周年・法人格取得50周年祝賀会  
17日 市立青梅総合医療センター開院式  
20日 地区医師会長連絡協議会  
26日 西多摩地域保健医療協議会  
28日 多摩医学会講演会
- 【新規開業】**
- 氏名 秋山 麗  
施設名 うしはま眼科  
所在地 福生市牛浜158  
メディカル・ビーンズ3階
- 氏名 田邊 秀聡  
施設名 そよかぜ在宅クリニック  
所在地 福生市本町115-3 1階

【入会会員】(正会員)

氏名 秋山 麗  
勤務先 うしはま眼科  
出身校大学 東海大学 平成9年5月卒

【法人代表者変更】

(医社) 大聖病院  
(新) 宮川 和子  
(旧) 宮川 昭二

氏名 田邊 秀聡  
勤務先 そよかぜ在宅クリニック  
出身校大学 杏林大学 平成23年3月卒

【入会会員】(準会員)

氏名 金木 正夫  
勤務先 (医社) 和風会  
多摩リハビリテーション病院  
出身校大学 東京大学 昭和62年3月卒

氏名 世古 ゆり子  
勤務先 青梅市立総合病院  
出身校大学 順天堂大学 令和5年3月卒

【退会会員】(準会員)

氏名 西島 豊  
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院

氏名 秋山 麗  
勤務先 公立福生病院

.....

**訃 報**

あきる野市 ゆき皮膚科クリニック  
院長 桑子 行正 先生 御母堂様

**桑子 トミ子 様 (98歳)**

去る令和5年9月6日 逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

表紙のことば

「富士山～秋景」  
秋、10月の西湖いやしの里根場の一コマ  
です。空気が乾燥してススキがとても綺麗で  
した。

古川朋靖



**お 知 ら せ**

保険請求書類提出締切日

令和5年12月 (11月診療分) **12月7日 (木)** 正午迄  
令和6年 1月 (12月診療分) **1月9日 (火)** 正午迄  
(締切日以前の提出も可能です)

**法 律 相 談**

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を  
毎月第2木曜日 午後2時より実施いたします。  
お気軽にご相談ください。

◎相談日 **11月 9日 (木)**  
**12月14日 (木)**

◎場 所 西多摩医師会館

◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・  
刑事に関するどのようなものでも結構です。

◎相談料 無料 (但し相談を超える場合は別途)

◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。  
(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。



## あ と が き



## —紅葉の季節—

紅葉の季節が始まりました。

9月17日・18日 北アルプスの蝶ヶ岳(2677m)では山頂付近の草の紅葉が始まっていました。

10月14日・15日 岩手県の八幡平(1613m)山頂の最高気温は9℃。山頂の草紅葉は枯葉になっていました。山の中腹は、紅葉の最盛期で、赤・黄・緑のコントラストが見事、最高の紅葉でした。

紅葉は北から南へ、山頂から山麓へと降りてきます。

今年の東京の奥多摩・高尾山エリアの紅葉の見ごろの予想です。

奥多摩湖は10月下旬～11月中旬頃、鳩ノ巣溪谷・御岳山は11月上旬～11月中旬頃、御岳溪谷・秋川溪谷は11月中旬～11月下旬頃、高尾山は11月中旬～12月上旬頃だそうです。

紅葉の始まりは秋の気温と関係しており、気温が低いと紅葉の時期は早くなるそうです。

羽村市 小作駅前クリニック 奥村 充

一般社団法人 西多摩医師会

令和5年11月1日発行

会長 進藤幸雄 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会

三ツ汐 洋 下村 智 鹿兒島武志 菊池 孝 奥村 充

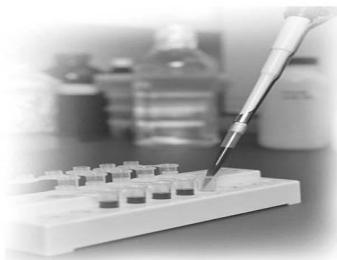
馬場 一徳 小高 哲郎 近藤 之暢 古川 朋靖 神應 知道

印刷所 マスタ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

## 生命の輝きをみつめ

### “いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ  
地域に根ざした検査所として歩んできました。  
高度な技術と最新の設備で地域医療の  
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所



株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL; 04-2964-2621 FAX; 04-2964-6659

URL; <http://www.e-musashi.co.jp>